

平成25年度 在宅医療・介護連携推進事業コーディネーター養成研修
平成26年3月10日（月） 福井県看護協会会館

研修会の目的

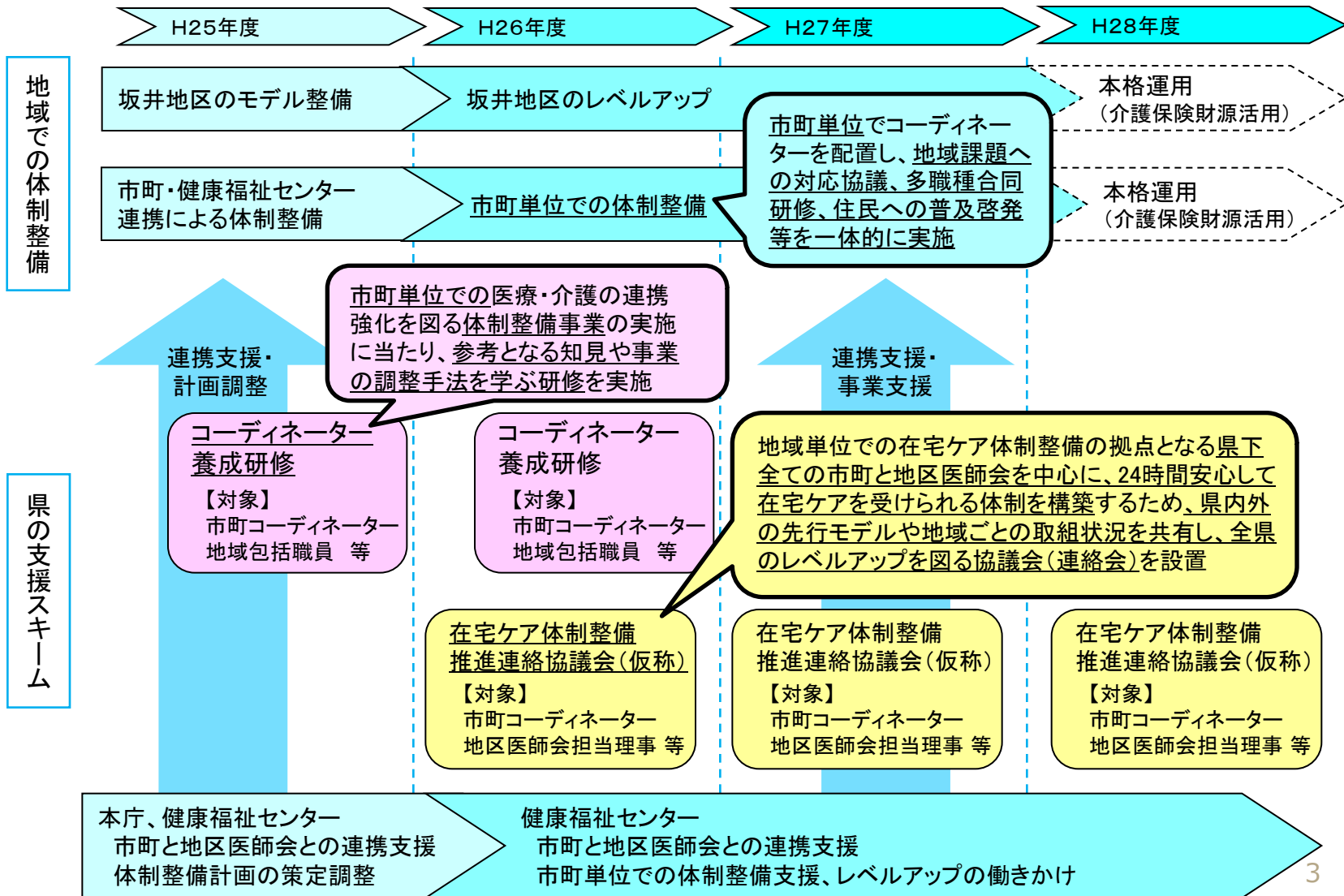
福井県健康福祉部長寿福祉課
在宅ケア推進グループ

目的

- 平成26年度から、全ての市町において、地域の実情に応じた形で、在宅療養者を支える体制づくりを本格化
- 地域により、医療・介護資源等に差があり、実態を十分に把握し、地区医師会等と連携した対策を進めていくことが必要
- 市町ごとに体制づくりを進めるに当たり、その中心的な役割を担う事業コーディネーターや市町・地域包括担当者、サポート役として関わる県健康福祉センター保健師を対象に、体制整備の実務および地域包括ケア構築にかかる国の動向を学ぶ場とする

市町単位での在宅ケア体制整備と県の支援スキーム(案)

- ◎平成26年度から、全ての市町において在宅ケア体制整備を本格実施
- ◎県では、連携調整の支援、参考となる知見を共有する場づくりを並行実施



内容

- 講義

「今後の在宅ケア体制整備の方向性と市町に期待される役割」
東京大学高齢社会総合研究機構 特任研究員 久保真人氏

(ポイント)

- 国全体の方向性の確認・共有
- 市町の体制整備に求められるプロセス
- 全国の先進地域における課題とその解決手法
市区町村等による在宅医療連携拠点事業の取組調査
在宅医療・介護連携のための市町村ハンドブック
- 体制整備のキーとなる多職種研修会運営のあり方
地域における多職種連携研修会 研修運営ガイド

内容

- 事例発表① 大野市

「行政主導による在宅医療連携拠点事業」

大野市健康長寿課 課長補佐 尾嶋里子 氏

在宅医療相談支援センター

地域医療コーディネーター 杉川美栄子 氏

(ポイント)

- ・ 市町を主体とした在宅ケア体制整備の実務

在宅医療相談窓口の設置

多職種代表者による連絡会の開催

多職種合同交流会の運営

地域住民への普及啓発活動

内容

- 事例発表② 坂井地区

「地区医師会との連携による地域包括ケア体制整備」

坂井地区広域連合介護保険課 係長 半田信哉 氏

坂井地区医師会在宅ケアネット

在宅医療コーディネーター 北川ひで子 氏

(ポイント)

- ・ 市町を主体とした在宅ケア体制整備の実務

坂井地区が目指す在宅ケア体制

顔の見える多職種連携カンファレンスの運営

- ・ 医師会コーディネーター（調整役）が担う役割

坂井地区における医療コーディネートの実務

在宅ケア体制整備において医師会に求められる

役割とその取組みを促す市町行政のあり方

内容

- 行政説明

「地域包括ケアシステムの構築と地域ケア会議の推進」

福井県長寿福祉課在宅ケア推進G 主任 玉井さをり

「市町単位での認知症ケアパスの作成」

福井県長寿福祉課在宅ケア推進G 主任 沖 智子

(ポイント)

- ・ 在宅ケア体制整備と関わりの深い国の動向を伝達

- 情報交換

講師・発表者等との個別意見交換